

財団法人 日本サッカー協会

平成 19 年度 第 9 回理事会

協議事項

1. 日本サッカー後援会 会員表彰の件

※（協議）資料No. 1

1. 日本サッカー後援会会員として30年在籍した者に対し、日本サッカー協会として永年にわたる援助に対する感謝として以下のことを実施したい。
尚、2008年度以降毎年継続することとする。

対象者：2008年度 101名（以後毎年30～50名）＊別紙参照

- ① 感謝状及び記念トロフィーの贈呈
- ② 年間のうち、日本代表戦を1試合ご招待
- ③ J F Aニュースで表彰対象者の名前を掲載

参考：日本サッカー後援会からの後援金収入

平成 14 年度	¥60,000,000
平成 15 年度	¥58,000,000
平成 16 年度	¥60,000,000
平成 17 年度	¥60,000,000
平成 18 年度	¥55,000,000

2. シンガポール向け日本人指導者海外派遣の件

※（協議）資料No. 2

シンガポールサッカー協会からの要望を受け、アジア貢献事業の一環として、下記指導者を派遣することとしたい。

派遣者：影山 雅永（かげやま まさなが）（40歳）

派遣国：シンガポール

資格：AFC公認プロフェッショナル ディプロマ コーチ

なお、本資格は、J F A公認S級コーチに相当するものである

役職：U-16 シンガポール代表監督（2009 FIFA U-17 World Cup を目指すチーム）

契約期間：2008年2月1日～2009年1月31日

略歴：添付別紙の通り

3. ビーチサッカー日本代表ナショナルコーチングスタッフの件

2008年ビーチサッカー日本代表ナショナルコーチングスタッフについて以下の通りとする。

監督：河原塚 毅（ソーマプライヤ／沖縄）

<プロフィール>

氏 名：河原塚 毅（かわはらづか たけし）

生年月日：1975年2月1日

出生地：埼玉県

保持ライセンス：JFA公認C級コーチ

学 歴：1993年3月 埼玉県立上尾南高等学校卒業

サッカー歴：

1998年 : フェロビアリオ（ボリビア2部）

1999年 : アルビレックス新潟（J2）

2000年～2002年：かりゆしFC（九州リーグ）

2003年 : FC琉球（沖縄県リーグ）

ビーチサッカー歴：

2004年～ : ソーマプライア（監督兼選手）

全国ビーチサッカー大会（2005：優勝、2006：準優勝、2007：準優勝）

2005年～ : ビーチサッカー日本代表選手

FIFA ビーチサッカーワールドカップ 2回出場

（2005：ベスト4 [4得点]、2007：ベスト8 [5得点]）

FIFA ビーチサッカーワールドカップアジア予選 2回出場（2006、2007）

ポルトガル国際大会 2回出場（2006、2007）

4. 国体改革プロジェクトの件

日本体育協会では、2013年の国体改革を実施すべく、各競技団体へのヒアリングを通じて検討中であるが、本協会として、国体におけるサッカー競技全般についての在るべき姿について検討する為、新設するものである。

プロジェクトリーダー：田嶋幸三（JFA専務理事）

尚、メンバーについては、次回理事会報告とする。

5. 評議員 交代の件

(社)栃木県サッカー協会

(現)

(新)

吉江 澈也 (専務理事) → 室井 和比古 (専務理事)

6. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認 (新規) の件

1. 公認申請者：学校法人阪南大学 (大阪府・松原市)
 施設名：阪南大学高見の里グラウンドサッカー場 (大阪府・松原市)
 施設所有者：学校法人阪南大学 理事長 菅 博三
 ロングパイル人工芝：グランガラス (F-N65) / 美津濃株
 公認期間：2008 (平成20) 年 1 月 18 日～2011 (平成23) 年 1 月 17 日
 公認番号：第 64 号

<特記事項>

- ◆ グランガラス (F-N65) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、
JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき 2 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、
JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公認申請者：学校法人 北陸大学 (石川県・金沢市)
 施設名：北陸大学フットボールパーク A 面 (石川県・金沢市)
 施設所有者：学校法人 北陸大学 理事長 北 元 喜 朗
 ロングパイル人工芝：アストロピッチ-SP (FCN-4525TPE) / (株)アストロ
 公認期間：2009 (平成20) 年 1 月 18 日～2011 (平成23) 年 1 月 17 日
 公認番号：第 65 号

<特記事項>

- ◆ アストロピッチ-SP (FCN-4525TPE) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、
JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき 2 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、
JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

3. 公認申請者：学校法人 北陸大学 (石川県・金沢市)
 施設名：北陸大学フットボールパーク B 面 (石川県・金沢市)
 施設所有者：学校法人 北陸大学 理事長 北 元 喜 朗
 ロングパイル人工芝：アストロピッチ-SP (FCN-4525TPE) / (株)アストロ
 公認期間：2009 (平成20) 年 1 月 18 日～2011 (平成23) 年 1 月 17 日
 公認番号：第 66 号

<特記事項>

- ◆ アストロピッチ-SP (FCN-4525TPE) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、
JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

- ◆公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

7. U-12 モデル地区トレセントライアルの実施の件

■要旨

- ・U-12 地区トレセンのモデルとして、JFAのコンセプトにて質の高い指導を行う。
- ・A級U-12 指導者から、認定を受けた者が指導を行う。
- ・U-12 の選手が日常生活圏内で通える範囲の活動とする。
- ・月2回程度の定期的な活動を行う。（目標週1回）
- ・周囲の地区トレセンの「モデル」としての発信機能の役割を担う。

■実施者（指導者）選定基準

- ・A級U-12 取得者であり、指導力（経験）が見込めること。
- ・JFA コンセプトを理解していること。

■実施できる条件

- ・関わる（実施できる）地区がある（既に行っている、または既存の地区トレセンとの連携でできる）
- ・グラウンドが確保できる。
- ・月2回程度（目標週1回）の活動が可能である。
- ・JFAの行うモデル地区トレセン研修を受講している。

■対象選手

- ・地区トレセンとして、負担なく通うことが可能な選手。（既に地区トレセンの活動がある場合はそれを活用する）

■JFAからの認定・研修会の実施

- ・「JFA A級U-12 モデル地区トレセンコーチ（仮称）」として認定（別途認定期間を設ける：検討中）
- ・JFAにて研修会（アカデミー研修）を実施する。

■その他

- ・2年間は“トライアル”と位置づける。併せてナショナルトレセンコーチ、JFAユースダイレクターが巡回し活動成果を検証しながらすすめる。
- ・経済的援助（施設利用費用や用具費等の補助やコーチウェア、用具の一部支給）を行う。（注：予算計画とあわせ検討中）
- ・将来的にはキッズ年代、チャレンジゲームとの連携やトレセンマッチデーを活用しながらの交流戦（8対8）の実施を検討しながら拡大していく。

8. 第6回フットボールカンファレンスの件

47 都道府県サッカー協会に開催希望を募り、（社）石川県サッカー協会、
（財）広島県サッカー協会より開催申請があった。
開催に必要な要件を両協会に確認した結果、次回開催地（県）を石川県とすることに決定した。

- 日 程：2009年1月16日（金）・17日（土）・18日（日）
- 会 場：石川県立音楽堂 石川県金沢市昭和町20-1（金沢駅東口）

9. 2008（平成20）年度公認S級コーチ養成講習会 受講者の件

※（協議）資料No.3

2008（平成20）年度公認S級コーチ養成講習会の受講者を別紙の通りとする。

※受講者名簿は別紙ご参照。

10. 2007（平成19）年度公認S級コーチ養成講習会 判定結果の件

全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため下記2名を公認S級コーチと認定する。

氏 名：安間 貴義（あんま たかよし）

所属チーム：ヴァンフォーレ甲府

生年月日：1969年5月23日

資 格：2004年 公認B級コーチ

2006年 公認A級コーチ

指 導 歴：2002年 HondaFC 監督

2002年～2003年 JFL 選抜日本代表（2002年コーチ/2003年監督）

2005年～ ヴァンフォーレ甲府コーチ

氏 名：木山 隆之（きやま たかゆき）

所属チーム：ヴィッセル神戸

生年月日：1972年2月18日

資 格：2000年 公認B級コーチ

2004年 公認A級コーチ

指導歴 : 1999年 大阪商業大学サッカー部コーチ
 1999年 水戸ホーリーホックスクールコーチ (選手兼任)
 2003年～2005年 筑波大学蹴球部監督
 2005年～ ヴィッセル神戸ユースチーム監督

11. 2008年ナショナルコーチングスタッフの件

※ (協議) 資料No.4①～③

_____は新規契約者。(クラブ名)があるものは、クラブを含めた3者契約。
 [所属名]があるものは、派遣または準専任契約。
 プロフィールについては資料参照。

[日本代表]

監督：岡田 武史 (前回理事会承認済)
 コーチ：太木 武、大熊 清、小倉 勉
 GK コーチ：加藤 好男

[U-22 日本代表 (北京オリンピック 2008)]

監督：反町 康治
 コーチ：井原 正巳、江尻 篤彦 (アルビレックス新潟)
 GK コーチ：川俣 則幸
 フィジカルコーチ：矢野 由治

[U-19 日本代表 (U-20 ワールドカップナイジェリア 2009)]

監督：牧内 辰也
 コーチ：大熊 裕司 (セレッソ大阪)
 GK コーチ：慶越 雄二

[U-16 日本代表 (U-17 ワールドカップ 2009)]

監督：池内 豊
 コーチ：山橋 貴史
 GK コーチ：柳楽 雅幸

[なでしこジャパン (日本女子代表)]

監督：佐々木 則夫 (前回理事会承認済)
 コーチ：望月 聡 [びわこ成蹊スポーツ大学(予定)]
 GK コーチ：前田 信弘 (※新規専任契約)

[U-20 日本女子代表 (U-20 女子ワールドカップチリ 2008)]

監督：佐々木 則夫

コーチ：堀野 博幸[早稲田大学]

[U-17 日本女子代表 (U-17 女子ワールドカップニュージーランド 2008)]

監督：吉田 弘[常葉学園橘中学校、高等学校]

コーチ：坂尾 美穂[J F A アカデミー福島]

GK コーチ：川島 透[金光大阪高等学校]

12. なでしこジャパン育児サポート制度の件

※ (協議) 資料No.5

なでしこジャパン招集時、監督が戦力として必要と判断し選出する選手に3歳以下の乳幼児がいる場合、当該の選手が代表チーム活動に心身ともに専念できることを目的として、その子を帯同することを許可する育児サポートに関する制度を以下の通り定める。

(本案については、女子委員会、技術委員会、スポーツ医学委員会にて承認済み)

尚、本制度の適用に際し、それに伴う必要事項、責任所在等についてJ F Aと当該選手間で「なでしこジャパン招集に伴う育児サポートに関する覚書」を交わすこととする。